

**プロロジス、物流連 物流環境大賞
「物流環境負荷軽減技術開発賞」を受賞**

- プレキャスト免震構造採用による CO2 排出削減の取り組みへの評価 -



PC 免震構造採用施設「プロロジスパーク セントリア」

物流施設専門の不動産開発会社プロロジス(日本本社: 東京都港区東新橋)は、このたび社団法人日本物流団体連合会より「第 9 回物流環境大賞」の「物流環境負荷軽減技術開発賞」を受賞しました。なお、同賞の授賞式は、2008年6月19日に行われる予定です。

今回の受賞は、プロロジスの大型物流施設開発時に構造躯体の PC(プレキャストコンクリート)化、および免震構造を採用することで、工事現場での作業が大幅に軽減され、建設資材の工事車両数、建設時の CO2 排出量を削減することができるだけでなく、建物が長寿命化し、LC(ライフサイクル)CO2 排出量も削減するという取り組みが評価されたものです。

プロロジスが開発した PC 免震構造を採用した物流施設 6 棟(うち 1 棟は建設中)について算出した LCCO2 の削減量*は下記の通りであり、ライフサイクル全体で一般の物流施設と比較し、年平均で約 12%の CO2 削減が可能です。*「プロロジスパーク セントリア」の例を用いて試算した結果を反映して、6 棟分に換算したデータ

	削減量	森林面積換算 (東京ドーム面積に換算)
建設時の CO2 削減量	102,943 トン	6,164 個分
LC(ライフサイクル)CO2 削減量**	806,300 トン	48,300 個分

** 耐用年数 100 年想定

<参考> プロロジス PC 免震構造採用施設

施設名称	竣工時期	階数	延床面積
プロロジスパーク大阪	2004年10月	7階	155,930 m ²
プロロジスパーク横浜	2005年6月	4階	119,350 m ²
プロロジスパーク東京	2006年5月	7階	102,989 m ²
プロロジスパーク セントリア	2007年6月	5階	83,301 m ²
プロロジスパーク大阪	2007年6月	8階	168,913 m ²
プロロジスパーク市川	2008年10月予定	5階	150,978 m ² (予定)

LC(ライフサイクル)CO2 とは: 建物の環境に対する配慮を評価するための指標で、資機材の生産段階から建設・運営・修繕・改修・廃棄までの一生に建物が環境に与える負荷を示します。建物の企画・設計段階の二酸化炭素排出量も含まれます。(国土交通省による定義)

プロロジスでは全世界でサステイナブル(持続可能)な施設開発に取り組んでおり、環境にやさしい物流施設開発のグローバルリーダーとして、環境に配慮した施設開発を推進しています。アメリカでは、シカゴ気候取引所への参加や、施設の屋上をソーラーパネル設置用に提供することによる、再生可能エネルギーの有効利用の促進、また高効率照明の導入による省エネルギー化などを行っています。ヨーロッパでもソーラーパネルの設置や、採光を高めた施設の開発など、サステイナブルな施設の開発を積極的に行っています。

日本においても、PC 免震構造採用の施設開発をはじめ、風力発電の導入、断熱パネルや照明への人感センサーの採用、敷地内緑化の充実、リサイクル素材の活用、敷地内公共設備の整備など、サステイナブルな施設開発に取り組んでおり、これからも“人とモノ、環境にやさしい”物流施設開発を推進していきます。